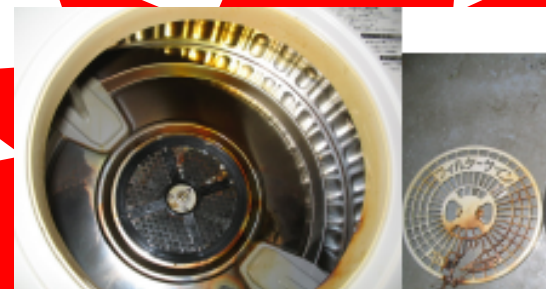


『衣類乾燥機』の使用にご注意ください！

こんな事故が起っています

オイルの染みこんだタオルが乾燥中に発火。



これが原因

乾燥した時の余熱によりオイルが酸化発熱し自然発火。

食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、美容オイル(ボディオイル、エステ系のオイルなど)、ベンジンやシンナー、ガソリン、樹脂(セルロース系)などの付着した衣類や、ポリプロピレン繊維製の衣類は洗濯後でも絶対に乾燥しない



禁止



油の酸化熱による自然発火や引火の恐れがあります。

ここに注意

食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、美容オイル(ボディオイル、エステ系オイルなど)、ベンジン、シンナー、ガソリン、樹脂(セルロース系)などの付着した衣類や、ポリプロピレン繊維性の衣類は洗濯後でも絶対に乾燥機に入れて乾燥しない。

『小形キッチンユニット用電気こんろ』の 使用にご注意ください！

こんな事故が起っています

こんろのそばを通った時に体や荷物などがつまみに当たって意図せずスイッチが入り、こんろの上にあった可燃物に延焼。

こんなとき、こんな原因で火事になる



これが原因

- ① 電気こんろの上や周辺に可燃物を置いている。
- ② つまみ部分にカバーがなく露出しているため、意図せずスイッチが入ってしまう。

ここに注意

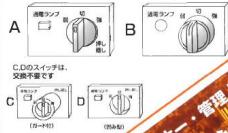
- ① 電気こんろの上や周辺には絶対に可燃物を置かない。
- ② つまみ部分にカバーのない電気こんろを使用されている方は、メーカー等が行う無償改修を受けてください。

(問い合わせ先) 小形キッチンユニット用電気こんろ協議会(03 - 3556 - 5915)

安全にお使いいただくために

安全なスイッチ操作部に交換致します。

お問い合わせは、お客様のお使いになっているユニットメーカーまたは、下記まで。
つまみが飛び出ているA、Bのスイッチは、ご連絡ください。
対象の場合は「無償」にて交換いたします。



C,Dのスイッチは、交換不要です



(C型・D型)

(D2型)

火のないここも火事になる
小形キッチンユニットのツマミカバー(電気こんろ)を安全に使っていただくために

こんなとき、
こんな原因で
火事になる



●「ちょっと、置いておこう」
電気こんろの上や周辺に可燃物、カセットコンロやボイル類が放置されていた。

●「おっと、当たってしまった」
電気こんろのスイッチつまみに、身体や物がぶつかってスイッチが「入」になった。

●「つい、うっかり、忘れていた」
電源スイッチが「入」となっていることに、気が付かず外出した。

『エアゾールスプレー』の使用にご注意ください！＜その1＞

こんな事故が起っています

- ・ 浴室内で虫を退治しようとして連続噴射後、入浴のために内釜に点火したところ引火して火災となり、やけどを負い入院。
- ・ 使用中のコンロ近辺に出現した虫を退治しようと噴射したところ引火して火傷を負った。



これが原因

スプレーには噴射圧力をかけるために可燃ガス(LPガス)が用いられているため、噴射により滞留した可燃ガスに、ガス器具の火が引火した。

ここに注意

- ① 炎や火気の近く、高温となる場所ではスプレーを使用しない。(表示をよく読む)
- ② 使用中並びに使用後は十分に換気を行う。

『エアゾールスプレー』の使用にご注意ください！〈その2〉

こんな事故が起きています

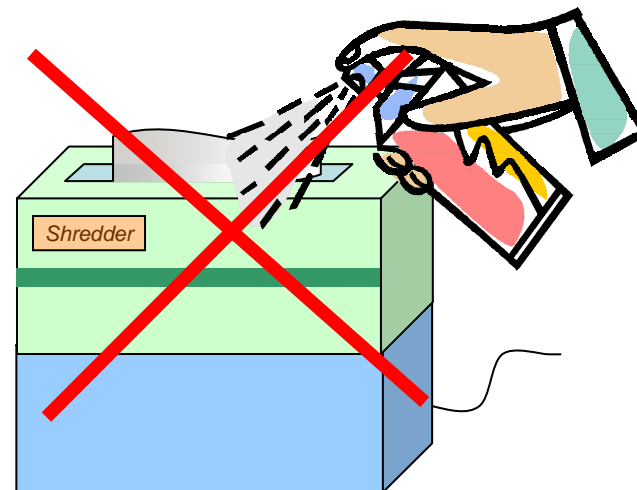
シュレッダーで紙詰まりが発生したので、潤滑油をカッター部に供給して回転をスムーズにしようとして潤滑スプレーを噴射したところシュレッダーが爆発した。

これが原因

シュレッダーの屑箱の空間はガスが溜まりやすい場所であるところ、スプレーから潤滑油と共に噴射された可燃性ガスがシュレッダーの内部に残留して、シュレッダーのモーターで発生した火花により引火や爆発を起こす。

ここに注意

- ・ 潤滑スプレーその他各種スプレーの類をシュレッダーの内部へ向けて噴射してはいけません。



『エアゾールスプレー』の廃棄の際ご注意ください！

こんな事故が起きています

浴室の床で市販のガス抜き器を使用してエアゾール缶（LPガスが使用されている）に内容物が残った状態で、穴を開けていたところ、LPガスに何らかの原因で火がつき火傷を負った。

これが原因

スプレー缶に内容物が残った状態で、缶に穴を開けてガス抜きをすると、スプレーに用いられている可燃ガス(LPガス)が周囲の火種や金属同士が衝撃的に擦れ合って生じた火花により引火・爆発することがあります。

ここに注意

- ①スプレー缶は中身を使い切ってから捨てましょう。（「中身排出機構」が缶に付いている場合には、それを用いましょう。）
- ②缶に釘やガス抜き器などを用いて孔を開けてはいけません。
- ③中身を使い切る操作は、風通しが良い火気のない屋外などの場所で行い、噴射音が聞こえなくなるまで繰り返し噴霧用ボタンを押して完全に中身を排出しましょう。



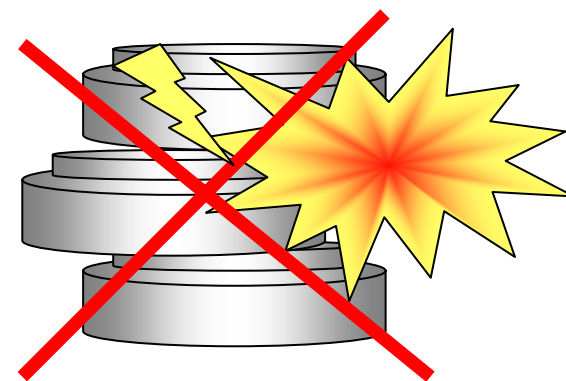
『ボタン電池』の保管・廃棄の際ご注意ください！

こんな事故が起きています

使用済みの複数個のボタン電池を樹脂製のかごの中に一緒に入れて、台の上に置いていたところ、その付近から炎が出た。

これが原因

ボタン形電池は重なり合うと、極と極との間がショートして発熱・破裂を引き起こす危険があります。



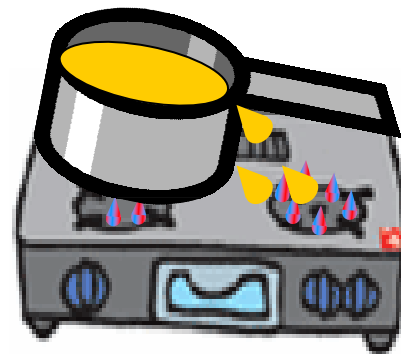
ここに注意

- ①包装から取り出した後のボタン型電池を保存する際には、ショートを防止するため、それぞれの電池の全ての電極にセロハンテープやビニールフィルムなどを巻きつける等して、絶縁しましょう。
- ②硬貨やクリップなど電気を通す金属類に接触させたり、水に濡らしてはいけません。
- ③使用済みボタン電池を廃棄する際は、上記と同様の絶縁を施した上で所定の方法（店頭回収ボックスに廃棄する等）により廃棄しましょう。

『ガスレンジ』使用時の油引火事故にご注意ください！

こんな事故が起きています

揚げ物を調理中、子供に呼ばれたので、ガスレンジ前面にある器具栓を閉じてその場を離れようとした際に、体の一部が鍋に引っかかって揚げ物油の油面が大きく揺らぎ、点火状態のバーナーの近くに油がこぼれてしまったため、油に引火して火災が発生した。（製品には異常はなかった）



製品に原因がない場合でも、消費者の誤った使用や不注意により、事故が起きる場合があります。

これが原因

不注意で、油の入った鍋に体がぶつかり油がこぼれてしまった。

ここに注意

- ①揚げ物の調理中は、油の温度などに注意し、そばを離れないようにしましょう。
- ②やむをえずガスレンジのそばを離れる際は、あわてずにしっかりと器具栓を閉じてガスの火を消しましょう。